

高瀬堰からのお知らせ(第5号)

平成27年度 高瀬堰(舟通し)における遡上調査結果について(速報)

- 高瀬堰では、底生魚の遡上支援として、「舟通し」を魚道として運用していることから、その利用状況を調査しました。
調査期間:平成27年5月27日～6月24日、8月21日、9月16日
- 計7回の調査で、26種2,758個体の利用が確認されました。
- このうち、底生魚(ヨシノボリ類、ウキゴリ類、その他底生魚)が1,850個体を占めていました。
- カワヨシノボリやウキゴリなどの底生魚に加え、アブラボテなどの遊泳魚、モクズガニやテナガエビなどが確認されました。
- 魚道では16種の遡上が確認されていますが(お知らせ 第4号)、舟通しを魚道として利用することにより、魚道を遡上していない13種の遡上が確認され、**高瀬堰を遡上する種類数の底上げ**が図られています。



- ✓ 普段は閉まっている舟通しのゲートを下流側から片方ずつ開けて、遡上する魚類等を上流に呼び込みます。
- ✓ 舟通しの上流端に定置網を設置して、遡上してくる魚類等を捕獲しました。
- ✓ 舟通しの利用状況を調査するため、水中ビデオでの撮影を行いました。

■ 確認された種



カワヨシノボリ



ウキゴリ



モクズガニ

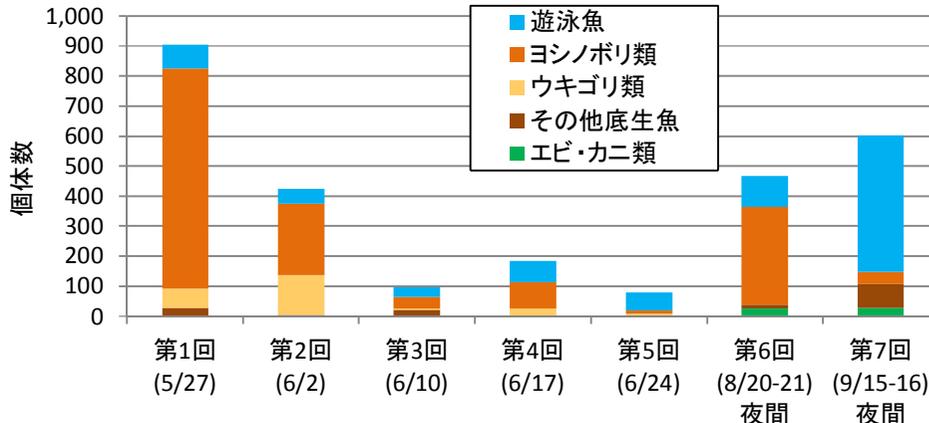


アブラボテ



テナガエビ

■ 調査結果



(魚種の内訳)

- ギンブナ、アブラボテ、オイカワ、カワムツ、ウグイ、ヒガイ属、ムギツク、ホンモロコ、ズナガニゴイ、ニゴイ属、イトモロコ、コウライモロコ、スゴモロコ属、アユ
- カワヨシノボリ、シマヨシノボリ、オオヨシノボリ、トウヨシノボリ
- カマツカ、シマドジョウ、スジシマドジョウ中型種、カジカ中卵型、ヌマチチブ
- スミウキゴリ、ウキゴリ、ウキゴリ属
- テナガエビ、スジエビ、モクズガニ